

日頃からの温かいご支援とご指導に心より感謝申し上げます。

市では自転車をより身近に感じてもらいながら、日立の魅力を堪能することができるよう、レンタサイクルに取り組んでいます。

また、中学生以下のお子さんのいる世帯を対象としたオンライン医療サービスを始めるとともに、高校生以下のお子さんのいる世帯を対象に、お米などの購入に利用できる「おこめギフト券」を配布するなど、子育て世帯への支援にも取り組んでいます。

引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

白石 敦



ニュース

電動アシスト付き自転車を貸し出しています！

本市は海と山などの豊かな自然のほか、観光施設や飲食店などを巡るサイクルツーリズムを推進しています。

貸し出す自転車は電動アシスト付きなので、坂の多い場所でも快適に走ることができ、貸し出し窓口で当日の申し込みでもご利用できます。おすすめコースもありますので、日立のまちでサイクリングしてみませんか。



▲ミニベロ
タイヤが小さく
小回り抜群！



▲クロスバイク
車体が軽く、
長距離も楽！

貸し出し窓口	日立駅情報交流プラザ『ぶらっとひたち』	久慈サンピア日立
台数	・ミニベロ：5台	・ミニベロ：5台 ・クロスバイク：2台
事前申し込み	・Tel 0294-33-8103 ・右のQRコードから	・Tel 0294-53-8000
利用時間	9:30～18:00（最終受付は17:30）	
料金	4時間以内：1,500円、4時間超：2,000円	
その他	・小学生以上の方が利用できますが、小学生は保護者などの同伴が必要です。 ・借りた場所と同じ場所での返却となります。 ・ヘルメットは無料で貸し出しています。	

《おすすめコース》

コース	主な立ち寄りスポット
ひたち一周	J R日立駅、十王パノラマ公園、ひたち南ドライブインなど
十王地区	十王ダム、川尻海水浴場、国民宿舎鵜の岬など
日立地区	かみね公園、日鉱記念館、奥日立きららの里、御岩神社など
多賀・大甕地区	日立おさかなセンター、日立オリジンパーク、泉神社など



▲おすすめコース
詳しくはこちら

臨時会報告

令和7年 第2回臨時会開催

令和7年第2回臨時会が、5月14日から19日まで開催され、任期満了に伴う日立市議会議長および副議長の選挙と常任委員会委員、特別委員会委員の選任が行われました。

その結果、常任委員会では「**教育福祉委員会**」、特別委員会では「**新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会**」に所属することになり、また、「**議会運営委員会**」にも所属することになりました。

※議会運営委員会では、委員長を拝命しました。

■ 議長および副議長

議長：吉田 修一 議員（民主クラブ）、副議長：今野 幸樹 議員（日立市政クラブ）

■ 常任委員会

- ① 総務産業委員会…市長公室、総務部、産業経済部、共創プロジェクト推進本部、消防本部等に関する事項と他の委員会に属さない事項
- ② **教育福祉委員会…保健福祉部、教育委員会に関する事項**
- ③ 環境建設委員会…市民生活環境部、都市建設部、企業局に関する事項

■ 特別委員会

- ① 幹線道路整備促進特別委員会…国道6号（日立バイパス、大和田拡幅等）や国道245号等の整備促進に関する事項
- ② ジャイアントパンダ誘致推進特別委員会…かみね動物園へのパンダ誘致に関する事項
- ③ **新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会…新たな最終処分場の整備に関する事項**

■ 議会運営委員会…議会の会議規則、次期定例会の会期、議会の活性化等に関する事項

定例会報告

令和7年 第2回定例会開催

令和7年第2回（6月）定例会が、6月12日から26日まで開催されました。

令和7年度 一般会計補正予算が可決されました。

一般会計予算が3億2,780万円追加補正されました。主な事業は以下の通りです。

■ 未来地域振興基金積立金・・・(2億5,000万円)



- ◆産業廃棄物最終処分場の管理運営を行う「茨城県環境保全事業団」からの寄附金を積み立て

■ 予防接種事業・・・・・・・・・・(6,540万円)



- ◆新型コロナワクチン接種の市独自の助成。対象は65歳以上、重度の基礎疾患を持つ60～64歳、妊婦、生後6か月～19歳未満

■ 居心地が良く歩きたくなる

まちなかづくり検討事業・・・・・・(650万円)



- ◆日立駅周辺地区の未来ビジョン策定に向けた官民連携の「エリアプラットフォーム」の構築などを実施

■ その他・・・・・・・・・・(590万円)

- ◆コミュニティ推進事業
- ◆デジタル化推進事業 他

会派「民主クラブ」の一般質問について

6月16日に行われた一般質問の一部を抜粋して紹介します。

1. 医療福祉費支給制度(マル福)における小児医療費の自己負担金の助成

(1) 現状と課題について

【質問】本市のマル福は県の制度に加え、市独自の助成により実質無償である。外来の際は600円を上限に自己負担するが、600円の場合は申請不要で登録口座に振り込まれる。一方、600円未満の場合は領収書や銀行口座などの申請が必要であるが、申請漏れが発生している。現状と課題について伺いたい。

【保健福祉部長】医療機関は600円未満の場合、県の制度により市へ医療福祉費の請求を行わないことから、市が対象者を把握できないため、申請は必要となるが、課題でもあると捉えている。令和6年度に申請により助成した人数は約400人で、本年4月からオンライン申請も可能としたが、申請そのものを不要とすることで受給者の利便性がさらに向上するものと考えている。

(2) 周知方法の改善について

【質問】現在、「600円未満の場合は申請が必要」の周知は市ホームページやマル福の受給者証更新の案内書で行っているが、市公式LINEや医療機関に案内を掲示するなど、改善すべきではないか。

【保健福祉部長】今後は市ホームページやマル福の受給者証更新の案内書の記載内容を工夫して、小児医療費は実質無償であることの周知に努めたい。また、市公式LINEやひたち電子母子手帳アプリの活用および医療機関での案内も検討するなど、対象となる子育て世帯に助成ができるよう努めていく。

2. 行政経営改革の推進 ～業務改革の取組について～

【質問】本市は「行政経営改革プラン」を策定中であるが、業務改革はこれまでの業務プロセスをゼロから見直して再構築する必要もある。どのような手法で業務改革に取り組んでいくのか伺いたい。

【総務部長】本市は令和7年度を「行政経営改革元年」と位置付け、全庁一丸で推進している。推進にあたっては市民サービスの質を向上させるとともに、効率的な行政経営によって最大限の効果を生み出すため、他自治体の事例も参考にしながら、様々な手法を取り入れ業務改革を着実に進めていく。

トピックス

ひたち小児オンライン医療サービスをご利用ください

日立市と日立製作所による共創プロジェクトの一環として、4月から専用アプリを使った「ひたち小児オンライン医療サービス」が始まりました。この医療サービスには24時間365日対応の【オンライン医療相談】と、夜間・休日に利用できる【オンライン診療】の2種類があります。

ひたち小児オンライン医療サービス		
種類	オンライン医療相談	オンライン診療
対象	中学生以下のお子さんがある世帯	中学生以下のお子さん
時間	いつでも（24時間365日）	平日・土曜日＝18：00～22：00 日曜日・祝日＝9：00～13：00 14：00～22：00
料金	無料	実質無料※



▲詳しくはこちら

※診療費用はクレジットカードで支払いますが、本市独自の小児マル福により、後日、全額還付されます。

ひたちシーサイドマラソン2025 参加者募集中です！

11月16日（日）に開催する『ひたちシーサイドマラソン2025』では、8月31日（日）まで参加者を募集しています。詳しくは、大会ホームページをご確認ください。



